

るとともに、児童の発達段階に応じて
教学の基礎的な知識、技能を身につけ
させ、「数学的な考え方」の育成が図
られるよう次の点について努力する。

一 算数の指導体系や各領域の関連を
考慮し、児童の実態に即した指導計
画を作成する

(一) 個々の児童の現有学力の実態を的
確に把握し、児童が学習しやすい適
切な計画を作成する。

(二) 算数の指導体系や各領域のねらい
・ 内容を的確に把握し、内容の取り
扱いの程度、軽重、相互関連を考慮
して、時間的にゆとりのある計画を
作成する。

(三) 基礎的な知識の習得と技能の習熟
や、操作的な活動を適切に取り入れ
ることに重点をおいて、計画を作成
する。

二 個々の内容のねらいや取り扱いの
程度を明確にとらえ、指導内容の統
合及び重点化を図り、教材を精選し
て、指導の効果をあげる

(一) 算数科の目標、学年の目標、単元
等の目標を明確におさえ、指導内容
を重点化するとともに、指導内容が
どう発展していくもののかを的確
に把握し、それに合わせて教材を配
列する。

中学校年では、これまでに学習した
ことをもとにして、より高い観点か
らまとめたり、実際の場に能率よく
活用したりすることができるよう
に指導する。

高学年では、これまでに学習した
ことをもとにして、より高い観点か
らまとめたり、実際の場に能率よく
活用したりすることができるよう
に指導する。

（一）「集会」と「閏数」的な見方、
考え方については、有効適切な場に
おいて十分活用し、全学年を通して
継続的、発展的に行われるよう指導
する。

（二）児童の学力の程度に応じた学習目
標を設定し、児童自身が学習の成果
を知ることにより、積極的、意欲的
に取り組むことができるような学習
指導法を工夫する。

（三）学習形態、教育機器の活用、資料
の提示等を工夫し、更に、個に即し
た適切な指導助言をすることにより
算数に対する興味、関心を高める。

四 学習指導の改善を図り、学習意欲
を高めるとともに、学習を一層効果
的にする

て、事がらを簡潔にまとめたり、抽象
化や一般化したりすることができる
ようにする。

一 数学の指導体系や各領域の関連を
考慮し、生徒の実態に即した指導計
画に改善する

(一) 個々の生徒の現有学力の実態を
的確に把握し、生徒が学習しやすい
適切な計画に改善する。

(二) 数学の指導体系や各領域のねらい
・ 内容を的確に把握し、内容の取り扱
いの程度、軽重、相互関連を考慮し
て、時間的にゆとりのある計画に改
善する。

(三) 数量や図形に関する基礎的な概念
や原理・法則の理解と技能の習熟に
重点をおいて、計画を改善する。

二 個々の内容のねらいや取り扱いの
程度を明確にとらえ、指導内容の統
合及び重点化を図り、教材を精選し
て、指導の効果をあげる

(一) 数学科の目標、学年の目標、単元
等の目標を明確におさえ、指導内容
を重点化するとともに、指導内容が
どう発展していくもののかを的確
に把握し、それに合わせて教材を配
列する。

(二) 「数と式」、「図形」の指導につ
いては、基礎となる領域としてとら
え、体系的に取り扱い、指導の徹底
を図るようとする。

(三) 「閏数」、「確率・統計」の指導
については、具体的な事からを通し